

---

# 神聖睨夢

麻朝 雀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神聖睨夢

### 【Nコード】

N2586P

### 【作者名】

麻朝 雀

### 【あらすじ】

ギャンブル運の全く無い男が、全てを取り戻す為にギャンブルの大舞台にあがる

## ギャンブルに賭けた男

冷たい風が吹き抜けていく。

ここはどこだ？

辺りを見渡すが周囲は長い草で覆われていて寝たままじゃ何も見えない。

まだしばらく横になっていた気持ちを抑えて体を起こす。

頭がガンガンする。

俺はなぜここに？確か俺は、カジノでポーカーをしてたはずだが…。

兵藤 孝。彼は実力もないのにギャンブルをするからいいカモだと街では評判だった。

この日の前日彼は彼女と別れイライラした状態でカジノに入りポーカーをしてしまった。ただでさえ弱い男がそんな状態で勝てるわけがない。結果はもちろん惨敗。そして一文なしとなった彼はここに捨てられたのだ。「俺：また、まけたのかよ…」

勝負の後はいつも同じ気分になっている。負けたのを誰かのせいにして、現実から目を背けたいが誰のせいにすることも出来ない。そんな葛藤が彼の勝負の後には必ず彼を襲う。金がないことがム力つくんじゃない：兵藤が一番ム力つくこと、それは精神的にも運も何においても弱い自分自身だ。

「とにかくここにいてもしかたねえしな：飯でも食うかな…」

と呟きポケットの中に手をつ込む。しかし財布はない。すべてとられてしまったのだ。

仕方なく兵藤は家に帰ることにした。家になら何かあるはずだ。意外と草むらは兵藤の家の近くにあってらしく、すぐにたどり着いた。

ポストの中に沢山の葉書や何日も前からある新聞が何枚も突っ込まれている。彼は今年で21になり親と離れて暮らしはじめ

て3年が経つ。いまだに自分の身の周りのことができていない。職にもつかず親からの仕送りと転々とするアルバイトで食いぶちを繋いでいる。いつ切れてもおかしくない状態のなわの上を歩いてる状態だ。案外そのなわが切れる日は近いかもしれない。

そんな彼とは無縁そうなものがポストに入っているのに気付いた。

青の便箋に真つ赤な薔薇の絵が書かれた豪華なものだ。

彼は女性から来たものだと思います、はやる気持ちを抑えて、ゆっくり丁寧に便箋を開封していく。そして、中に入っていたのは…

「なんだよこれ…？招待状か？」

中に入っていたのは招待状だった。そこにはこう書いてあった。  
『兵藤 孝様、毎度、我が社のカジノのを御利用有り難うございます。』

この度、世界一のギャンブラーを決めるベスト・オブ・ギャンブラーを開催します。

つきましては、兵藤様にもご参加をお願い致します。 カジノ運営委員会。』

と手紙にはあった。

ベスト・オブ・ギャンブラー…か。

兵藤は最初自分には全く関係ないと思っていた。まず、第一にギャンブルに強くない。次に、精神的にそんなことをする余裕が今はない。それ故この大会には出ない…つまり自分には関係ないと思っていた。しかし賞金500億円という文字が目飛び込んだ。文にはまだ、続きがあったのだ。賞金500億円。副賞南の島まるごとと書いてある。

賞金…。金…。

正直、兵藤は金に困っていた。

誰かが言っていた。金があるから、人生は楽しい、と…

実際そのとおりだと兵藤は思っていた。自分は金がないから生きて楽しく無いんだと常日頃思っているし、今回彼女と別れたの

も金が無いせいだ。

金さえあれば全てを勝ち取れる！

彼の手は気付けばボールペンを握り、同封してあった参加確認書類の記入欄に手をすべらせていた。

負けた時の対応も知らずに：

12月22日X'mas前にも関わらず、沢山の人がこのベスト・オブ・ギャンブラーに参加した。このイベントは大々的なものらしく、有名な企業がスポンサーとして参加している。賞金もそこから出るのだろう。

兵藤は参加確認を済まし選手控室にいた。周りにも選手は居たがまったく気にならないほど彼は今、緊張していた。

結局、今日まで何のギャンブルをするか聞かされないで、当日になってしまった。

この、状況で緊張しない人間はいないだろう。ましてやスポンサーが大企業ということで、テレビ局の人間がかなり居る。沢山の人間の視線が自分達を中心に交差すると考えると足がすくみそうになる。

心臓が口から出そうだ。頭が真っ白になる。そしてその緊張が絶頂に達した瞬間：

アナウンスが物凄い音量でなり響く。

どうやら、入場の時間のようだ。兵藤は廊下に出た瞬間、頭を何かパイプみたいなもので殴られた。

これが、第一回戦の開始だった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2586p/>

---

神聖睨夢

2010年12月2日12時19分発行